

第 6 回岐阜サマー・サイエンス・スクール (GSSS2000)

DAY 1 : 平成 12 年 8 月 8 日 (火曜日)

開校式



開校式の様子です。市長さんから、皆さんへの励ましのお言葉も頂きました。

特講義 1 情報通信ネットワークの歩み 高知工科大学 末松 安晴 先生



初の講義です。末松安晴先生の「情報通信ネットワークの歩み」です。生徒の皆さんは真剣にメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。アナログ・デジタルの違いや二進法などの基礎、光ファイバーができるまで、なぜ光通信でなければいけないのかという話を、しっかり聞きました。



小松堯先生から手作りゲームを紹介していただきました。

DAY2：平成 12 年 8 月 9 日（水曜日）

講義2 「生命の謎を解く」 東京大学教授 軽部 征夫 先生



1997年、世界中をあっという間に驚かせたのは、クローン羊、「ドリー」の誕生でした。クローン動物とは遺伝子がまったく同一の動物の一群のことを意味します。なぜ世界中の話題をさらったのでしょうか？「ジェラシックパーク」や「ロストワールド」などのように恐竜の映画が大ヒットしていますが、このような絶滅した生物を再び誕生させる可能性があります。

絶滅しつつある生物の救済や絶滅した生物の再生などにクローン技術が大いに活躍するでしょう。クローンで羊などを作れるようになると食料に困らなくなる。



実習です。バスで苗木中学校に行きました。
慣れないはんだごてを使い、光センサーロボットの製作をしました。時間内に完成させることは
なかなか大変でした。

交流会



仲間との交流です。
もう知らない人はいなくなりました。

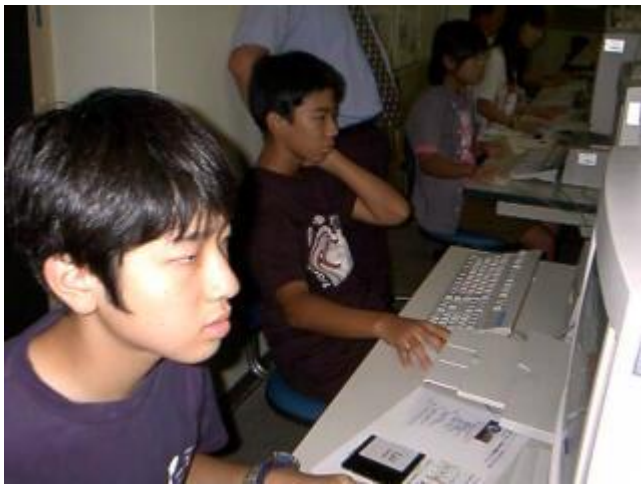
DAY3：平成 12 年 8 月 10 日（木曜日）

講義3「進化するロボット達」 名古屋大学教授 末松 良一 先生



鉄腕アトムを作ることできるだろうか。今までのロボットについて学習し、これからのロボットについて考えてみました。

選択実習A パソコン実習 東京工業大学助教授 渡辺 正裕 先生



現在、世界中のほとんどの国がパソコン通信のネットワークで結ばれ、情報はすばやく伝達されるようになっています。

簡単なパソコンネットワークから世界を結ぶパソコン通信まで、最先端のパソコン通信の世界を体験できました。



日本ロケット開発の第一歩は小さなペンシルロケットでした。

今回は、手作りロケットの基礎であるロケットキットを用いて、モデルロケットを製作し、実際に飛行実験をしました。

ロケット開発の第一歩を体験できました。



金・ざくろ石（ガーネット）・黄鉄鉱・硫砒鉄鉱・磁鉄鉱・チタン鉄鉱を含む砂をこのようにパンニングして取り出しました。

パンニングした後、金を取り出すことができたときには感激でした。



稲川先生、良一先生、山内先生によるからくり人形の仕組みを教わりました。

DAY4：平成 12 年 8 月 11 日（金曜日）

講義4 「ビッグバン宇宙の発見と展開」 東京大学名誉教授 小尾 信彌 先生



量子論や相対論により、新しい宇宙観が生まれてきました。

望遠鏡の発達もあり、新しい発見が続いています。

スライドなども織り交ぜ、宇宙という壮大な空間を、中学生に分かりやすくお話をされました。

宇宙に興味を持つ皆さんが多く、熱心に聞いていました。

新しい宇宙やいろいろな天体のことがわかり易く説明されていて聞いていても楽しく、スライドもよかった。

閉校式（終了証書授与式）



講師の、小尾先生・末松良一先生・渡辺先生から、一人一人に修了証書が渡されました。
これからの皆さんに対するメッセージが多くの人から送られました。
これからも、今の気持ちを持ち続けて下さい。